

CASIO®

5604*JA

取扱説明書

5604

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

本機は、Bluetooth® に対応した携帯電話等と通信し、時計の時刻を合わせるなどの機能を持っています（モバイルリンク機能）。

1.本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご利用になると罰せられることがあります。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

2.各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。



本機の操作説明(操作ガイド)については、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://world.casio.com/manual/wat/>

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 危険** 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
- 警告** 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
- 注意** 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。
- ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。
- 記号は「しなければならぬこと」(強制)を意味しています。

危険

二次電池について

- 本機から二次電池を取り出さない。発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。
- 二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に依頼する。指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

安全上のご注意

警告

スキューバダイビングに使用しない

- 本機をスキューバダイビングに使用しない。本機はダイブスウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

- 本機を分解・改造しない。けがの原因となります。

他の電子機器への影響について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。

- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。

- 心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。心臓ペースメーカーなどに磁気の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。

- 満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

ソーラー充電について

この時計は、ソーラーパネル（文字板）で発電した電気を充電しながら使用します。ご使用の際は、ソーラーパネルに光が当たるように心がけてください。

充電の方法

- 時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。

- 腕につけているときは、ソーラーパネルに衣類の袖がかからないように心がけてください。

注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。
- 以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

	<充電不足> 秒針が2秒ごとに動きます。		<充電切れ> 全ての針が停止します。
--	-------------------------	--	-----------------------

安全上のご注意

注意

お手入れについて

- ケース・バンドは常に清潔に使う。ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

- 時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していません。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
 - 金属・皮革に対するアレルギー
 - 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
 - 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

この時計の特長

この時計は、以下の機能を備えています。

光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら時計を動かします。

正確な時刻を表示します

携帯電話と通信し、正確な時刻を取得します。

携帯電話と通信できます

Bluetooth® 対応の携帯電話と接続し、通信することができます。

パワーセービング機能（節電機能）

節電状態になるまでの所要時間	針の機能の状態
午後10時から午前6時の間に暗い場所に置いてから約1時間	秒針のみ12時位置で停止します。
暗い場所に置いてから約1週間	すべての針が停止します。

参考

- 節電機能は、以下の方法で解除します。
 - ボタンまたはりゅうずを操作する
 - 時計を明るい場所に置く

充電に関する警告

充電不足になると警告が現れ、使用できる機能が制限されます。警告が出たら速やかに充電してください。

	<充電不足> 秒針が2秒ごとに動きます。		<充電切れ> 全ての針が停止します。
--	-------------------------	--	-----------------------

バッテリー充電警告機能

	「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
--	---

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ご使用にあたって

- 時計の表示は、安全な場所で確認する。思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

- 時計の着脱に注意する。バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

- 就寝時は時計を外す。思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

製品仕様

精　　度	携帯電話との通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒
基　本　機　能	時・分(10秒ごとに針が動きます)・秒・日付・曜日、フルオートカレンダー(2000～2099年)
デュアルタイム機能	時・分、24時間制
ストップウォッチ機能	計測単位　1秒 計測範囲　23時間59分59秒(24時間)
計測機能	通常計測、フライバック計測、ダイレクトスタート機能、カレンダーモードからストップウォッチの計測をスタートする
アラーム機能	セット単位　時・分 電子音　10秒間

製品仕様

モ　バ　イ　ル　リ　ン　ク　機　能	自動時刻修正機能 決まった時刻に自動で時計を合わせる ワンタッチ時刻修正 手動で接続して時刻を合わせる 携帯電話探索機能 時計操作により、携帯電話の音を鳴らす ワールドタイム 約300都市の時刻を時計に設定する ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能 サマータイム自動設定機能 スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える アラーム設定 針位置補正機能 通信仕様 Bluetooth® 周波数帯域　2400MHz-2480MHz 最大送信電力　0dBm(1mW) 通信距離　～2m(環境により変化)
使　用　電　池	二次電池
持　続　時　間	約5か月 使用条件 光にあてないで、以下を使用 ・自動時刻修正：4回/日 ・アラーム：1回(10秒間)/日 ・パワーセービング：6時間/日
改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。	

そ　の　他： パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能

- デュアルタイム機能
現在時刻の他に、別の時刻を小窓に表示できます。モバイルリンク機能を使えば、ワールドタイム都市を設定し、その都市の時刻を小窓に表示できます。

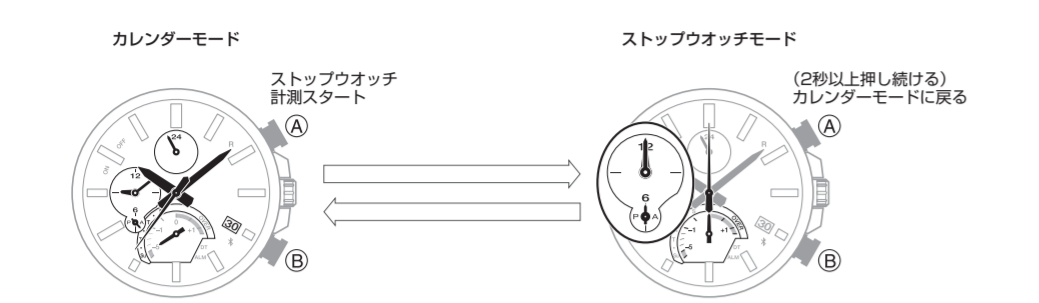
- ストップウォッチモード
1秒単位で24時間まで計測できます。

- アラーム機能
設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

時計の使い方

カレンダーモードとストップウォッチモード

この時計には、カレンダーモードとストップウォッチモードがあります。
カレンダーモードで **Ⓐ** ボタンを押すと、ストップウォッチモードに切り替わり、計測がスタートします。
ストップウォッチモードで **Ⓐ** ボタンを 2 秒以上押し続けると、カレンダーモードに切り替わります。



時刻を合わせる

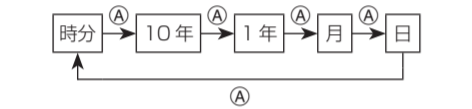
カレンダーモードで以下の操作を行います。

- りゅうずを2段引きます。**



時分が設定できる状態になります。

- Ⓐ ボタンを押して、「時分」「10年」「1年」「月」「日」を切り替えます。**



ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

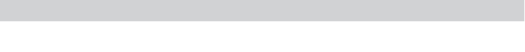
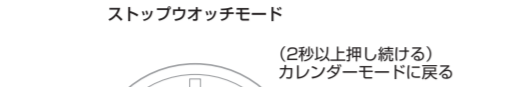
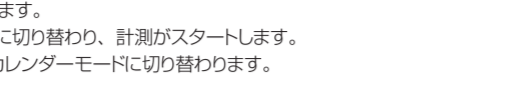
		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水	
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	[BAR]表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗濯、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気が多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること



- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けているので、無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けているので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。

- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要放射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることは使用しないでください。



- りゅうずを回して、値を設定します。**

- 「時分」は分針で合わせます（時計は分針に連動します）。
- 「日」は4時位置の小窓で合わせます。
- それ以外は秒針で合わせます。

例:2019年6月に設定

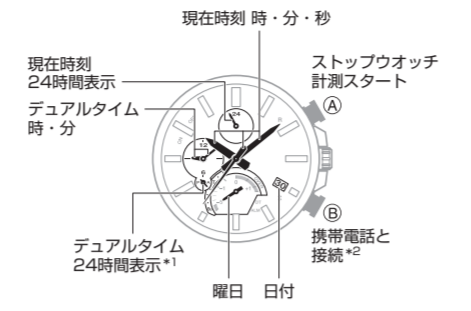


- りゅうずを元の位置に戻します。**



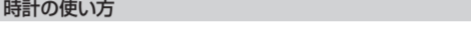
時計の使い方

カレンダーモードについて

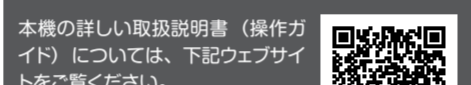


*1 針の向きがAの側のときは午前、Pの側のときは午後を示します。
*2 ⑧ボタンを2秒以上押し続けると携帯電話と接続します。

◆**携帯電話を使って時刻を合わせるには**
携帯電話をお使いの方は、携帯電話と接続して時計の時刻を合わせることができます。操作方法については操作ガイドをご参照ください。

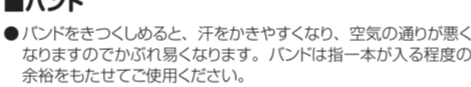
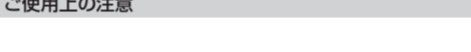


◆**携帯電話を使って時刻を合わせるには**
携帯電話をお使いの方は、携帯電話と接続して時計の時刻を合わせることができます。操作方法については操作ガイドをご参照ください。



本機の詳しい取扱説明書（操作ガイド）については、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://world.casio.com/manual/wat/>



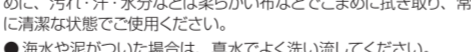
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをしてお手入れを清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。



- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂/バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。

- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

アラームをセットする

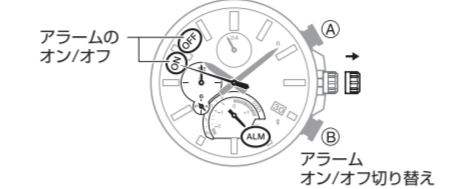
カレンダーモードで以下の操作を行います。

- りゅうずを1段引きます。**



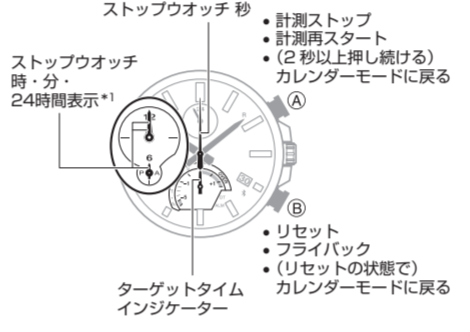
- Ⓐ ボタンを押します。**
時分が設定できる状態になります。

- ⑧ ボタンを押して、アラーム機能のオン/オフを切り替えます。**



ストップウォッチモードについて

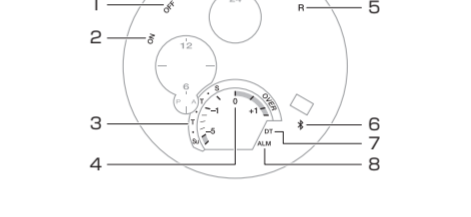
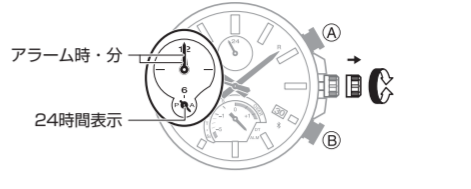
カレンダーモードで **Ⓐ** ボタンを押すと、ストップウォッチモードに切り替わり、計測がスタートします。



*1 針の向きがAの側のときは計測値が0～11時間、Pの側のときは12～23時間を示します。

時計の使い方

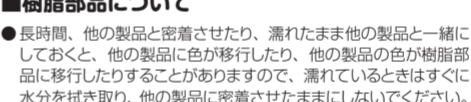
- りゅうずを回して、アラームの時刻を設定します。**
24時間表示の針の向きがAの側のときは午前、Pの側のときは午後を示します。



- OFF：アラームがオフに設定
- ON：アラームがオンに設定
- Su / T / F / S：曜日
- 5 / -10 / +10 OVER：ターゲットタイムインジケータ
- R：Bluetooth 接続待機中
- ✳️：Bluetooth 接続中
- DT：デュアルタイムを表示中
- ALM：アラームを表示中



文字板の見方



- OFF：アラームがオフに設定
- ON：アラームがオンに設定
- Su / T / F / S：曜日
- 5 / -10 / +10 OVER：ターゲットタイムインジケータ
- R：Bluetooth 接続待機中
- ✳️：Bluetooth 接続中
- DT：デュアルタイムを表示中
- ALM：アラームを表示中

- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすり、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたまりにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スクルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率などが低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがみ出しても、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時の性能が劣化することがあります。

（劣化）

- 樹脂/バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

（かぶれ）

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂/バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門店にご相談ください。

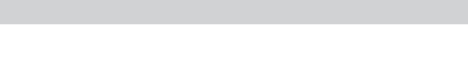
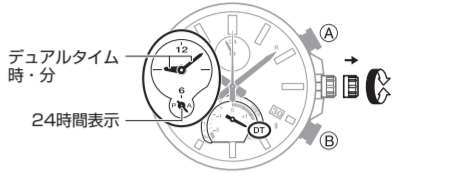
デュアルタイムをセットする

カレンダーモードで以下の操作を行います。

- りゅうずを1段引きます。**



- りゅうずを回し、15分単位で設定します。**
24時間表示の針の向きがAの側のときは午前、Pの側のときは午後を示します。



- OFF：アラームがオフに設定
- ON：アラームがオンに設定
- Su / T / F / S：曜日
- 5 / -10 / +10 OVER：ターゲットタイムインジケータ
- R：Bluetooth 接続待機中
- ✳️：Bluetooth 接続中
- DT：デュアルタイムを表示中
- ALM：アラームを表示中



- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

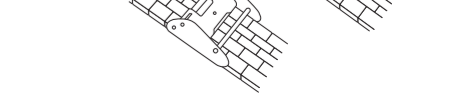
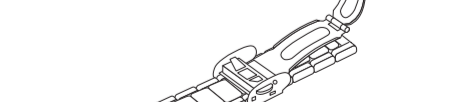
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすり、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたまりにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スクルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。

抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてお使いください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギーによる皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。



無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けているので、無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けているので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要放射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることは使用しないでください。

<以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の「その他の方式」です。また、想定される干渉距離は約 10m です。

- 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
- 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。